

教科名	科目名	単位数	年・組
社会	歴史的分野	4	中学2年1組～3組

使用教科書	副教材
新しい社会歴史 (東京書籍)	総合歴史 神奈川県版 (浜島書店) 中学実力練成テキスト 社会歴史 (文理)

1. 学習の目標

歴史的分野からの広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
歴史的事象に対する関心を深め、それを意欲的に追求し、広い視野に立って我が国の文化と伝統について考え国民としての自覚を持つとする。	歴史的事象から、課題を見だし、我が国の歴史の大きな流れと各時代の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断する。	年表や歴史地図、映像など歴史に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して活用するとともに、追求し考察した過程や結果を年表や報告書などにまとめたり、発表や討論などを行う。	我が国の歴史の大きな流れと各時代に特色などを我が国の歴史と関連ある世界の歴史を背景に理解し、その知識を身につけている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第1章 歴史のとらえ方 第2章 古代までの日本 1節 文明のおこりと日本の成り立ち	・中学の歴史学習の導入として、歴史に対する興味・関心や歴史を学ぶ意欲を高める。 ・人類が出現し、やがて世界の古代文明が生まれやこと、また日本列島で狩猟・採集を行っていた人々の生活が農耕の広まりとともに変化していったことを理解させる。	授業態度 ノート提出 小テストの成績 課題提出 定期試験の成績
	5	2節 古代国家の歩みと東アジア世界	・大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられ、その後、天皇・貴族の政治が展開されたことを、聖徳太子の政治と大化の改新、律令国家の確立、摂関政治を通して理解させる。また、国際的な要素を持った文化が栄え、後に文化の国風化が進んだことを、資料流などを活用してとらえさせる。	
	6	第3章 中世の日本 1節 武士の台頭と鎌倉幕府	・平安時代の社会から生まれた武士が次第に力をつけ、ついに鎌倉幕府が成立するに至った経緯のあらましを理解させる。 ・鎌倉時代の宗教と文化に見られる新しい動きを理解させ、当時の社会との関連を考えさせる。	
	7	2節 東アジア世界とのかかわりと社会の変動	・鎌倉幕府滅亡、南北朝の動乱、室町幕府の成立、応仁の乱と戦国大名の登場を通して、武家政治の展開を理解させるとともに、室町時代の新しい文化の特色を理解させ、今日の文化との関連に気づかせる。 ・元寇、日明貿易、琉球の国際的役割を通して、東アジア世界との関わりを理解させ、日本の歴史に与えた影響を考えさせる。 ・諸産業が発達し都市や農村に自治的なしくみが生まれるなど、民衆が成長していった事を理解させる。	

2	9	第4章 近世の日本 1節 ヨーロッパ人と の出会いと全国統一	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ人の来航の背景を、新航路の開拓を中心に理解させ、鉄砲とキリスト教の伝来を中心に日本の政治や文化に与えた影響を考えさせる。 ・織豊政権下で新たに成立した近世社会の特色を理解させる。 ・東南アジアとの貿易、キリスト教への対応、朝鮮侵略を通し、織田・豊臣の時代の対外関係のあらましを理解させる。 	授業態度 ノート提出 小テストの成績 課題提出 定期試験の成績
	10	2節 江戸幕府の成立 と鎖国	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸幕府の成立の経緯と政治制度のあらまし、幕府による大名や朝廷の統制政策を理解させ、江戸時代の身分制度と武士・百姓・町人の暮らしに関心を持たせ、身分によるきびしい差別があった理由を考えさせる。 ・貿易の振興から鎖国へと対外政策の変化が国内政治に与えた影響と、朝鮮・琉球・アイヌの人々の交流など鎖国体制下の対外関係を理解させる。 	
		3節 産業の発達と幕 府政治の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域の歴史的事象などから、農業など諸産業の発達の様子を理解させ、諸産業が発達した理由や影響を考えさせる。 ・幕府の政治改革を取り上げておもな内容を理解させ、改革が必要になった理由を考えさせる。 ・華やかな町人文化や地方の生活文化の広がりや、江戸時代の学問の発達の中に、新時代を切り拓く動きが見られることに気づかせる。 	
	11	第5章 開国と近代日 本の歩み 1節 欧米の進出と日 本の開国	<ul style="list-style-type: none"> ・開国から江戸幕府滅亡までの過程を、欧米諸国の動きと関連させて理解させる ・開国の影響とその後の幕府政治の推移について多面的・多角的に考えさせる。 	
	12	2節 明治維新	<ul style="list-style-type: none"> ・明治維新の経緯に関心を高めさせ、意欲的に追究させる。 ・明治維新を諸改革の内容を通して理解させ、短期間に近代国家の基礎を整えた政府や人々の努力や生活の変化について多面的・多角的にとらえさせる。 	
3	1	3節 日清・日露戦争と 近代産業	<ul style="list-style-type: none"> ・急速に近代化を進めた日本の国際的な地位の向上と、大陸との関係のあらましを理解させる。 ・近代文化が形成されたことを、学問や科学技術で国際的な業績が生まれたことから理解させる。 	授業態度 ノート提出 小テストの成績 課題提出 定期試験の成績
		第6章 二度の世界大 戦と日本 1節 第一次世界大戦 と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦の原因や概要について理解させ、帝国主義などの背景や現在まで続く民族問題についても関心を持たせる。 ・日本の大正時代の様子について、大正デモクラシーや多くの民衆運動を通して調べたり考えたりする態度を育てる。 ・世界恐慌の原因について理解させるとともに、各国の対応の違いを考えさせ、ファシズムの台頭について自分の意見を持つようにする。 ・日本の大陸進出、軍国主義化の経緯を、地図などを用いて具体的に理解させる。 	
	2	2節 世界恐慌と日本 の中国侵略	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦の原因や概要について理解させ、ヨーロッパとアジアの動きを比較しながら考えさせる。 ・戦争体験者などに、積極的に体験談を聞く態度を育てるとともに、戦争の被害と加害の実態を調べ、聞こうとする態度を身につけさせる。 	
	3	3節 第二次世界大戦 と日本		

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。